

受注の柱は半導体・検査装置で6割、 医療機器が3割、省力化機器1割の構成

信頼関係を軸に事業を継続する**葦崎精密**(山梨・南アルプス市)

ユキワ精工ツリーングユーザー訪問 — 中島社長、渡邊取締役役位に聞く —



取材に対応いただいた渡邊取締役

2022年、
仕事量拡大に向け、
DMG森精機製
「NVX-5100」を導入

制。山梨県内の企業で、8社と信頼関係を軸に「取引商社のためにも仕事を受注している」と言う。設備はマシニングセンター4台(DMG森精機3台、マシニング1台)、NC旋盤1台(DMG森精機)、汎用フライス盤と平面研削盤は日立精機で各1台ずつ、他に三菱電機のワイヤカットなどがある。現場を統括する渡邊取締役によると、主要設備の中で最も新しいのが、2022年に現場に据えたDMG森精機のNVX-5100。当社の骨格を成す半導体検査装置や医療機器関連の仕事量拡大に向けて、設備増強の観点から現場に導入し、久しぶりの投資対象だったと、まさにこのタイミングでユキワ精工のスーパーG1チャック

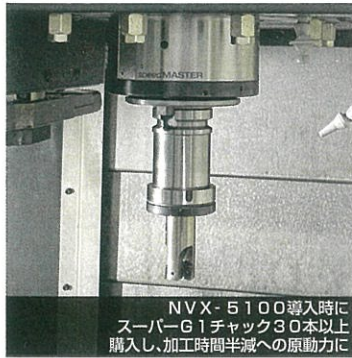
ツールングは
ユキワ精工製が「標準」
仕事量拡大には
リピートオーダー

省力化機器の部品加工で1984年に創業した葦崎精密を訪問し、3年前から活用しているスーパーG1チャックの役割と評価について、現状の仕事内容と合わせ中島社長、渡邊取締役に取材した。

商社の勧めでツリーングは
ユキワ精工製スーパーG1チャックに

「ビビリが抑制され、面粗度向上、工具寿命伸長」

11年前に3代目となった中島社長は、時代の変遷の中で、現在の主たる仕事内容は、半導体検査装置部品が6割と一番多く、次いで医療機器関連が3割で、創業当初の省力化機器関連は1割となっていると、内容を語る。加工上でのそれぞれの特徴を概観していくと、半導体検査装置部品は、アルミ加工が中心で他にステンレス、大きさは10ミリ角〜1500ミリ



NVX-5100導入時にスーパーG1チャック30本以上購入し、加工時間半減への原動力に

「切削条件が上げられ、
加工時間が半減」

基本的な求められる精度100分の1レベルに對しても十分に應えられており、渡邊取締役は「ツリーングについては、棲み分けにも配慮するがユキワ精工製を標準に考えていきたい」と思っており、仕事量増大には、リピートオーダーで対応していきたいと総括した。

ツリーングシステム
スーパーG1チャック



ツールホルダーを
変えると、
生産性が向上する



YUKIWA

ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック

<https://www.yukiwa.co.jp/>

検索

Precision Grade No.1
G1
Super G1 Chuck

本社・工場/〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所/東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

お客様から
ありがとう
と言っていただけ
ツールホルダー